

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			8月18日	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,2570	2,2470	2,2620	2,2690	2,2780	+0,0090
	USD/YEN	Spot	102,57	102,92	103,77	103,85	103,95	+0,1000
	EUR/USD	Spot	1,3364	1,3318	1,3260	1,3281	1,3242	-0,0039
	BRL/YEN	Spot	45,44	45,81	45,88	45,78	45,64	-0,1400
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,23	1,20	1,15	1,19	1,22	+0,0280
		1Year(p.a.)	1,47	1,42	1,39	1,44	1,46	+0,0190
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,89	10,89	10,89	10,90	10,89	-0,0091
		1Year(p.a.)	11,11	11,09	11,11	11,14	11,11	-0,0299
Stock	Bovespa		57.561	58.449	58.878	58.992	58.407	-584,79
Bond	CDS Brazil 5y		150,67	138,82	140,17	140,17	143,00	+2,8300
	Global 40		110,300	110,225	110,225	110,150	110,100	-0,0500

\* これらはインバング市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経常収支	-\$5800M	-\$6018M	-\$3345M	
対内直接投資	\$5400M	\$5898M	\$3924M	
税収	99275M	98816M	91387M	なし

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2590 で寄り付いた。
- 週初めにレアルは寄付き後 2.26 台半ばまで下落するも、先週死亡したカンポス氏に代わってシルバ氏が大統領選挙で出馬した場合、第二ラウンドまで続く可能性が高いと世論調査で明らかになったことが好感され、レアルは反発した。
- 翌 19 日には 7 月の米住宅着工件数が予想を上回る水準まで増加し、株式市場を中心にリスク資産の買いが見られたほか、利益確定と思しきレアル買いの動きが見られるとレアルは週間高値となる U\$1=R\$2.2470 まで続伸した。
- 週央にかけては米 FOMC 議事録が発表され、「多くの参加者は、委員会の目標に向けた収束が予想より速いペースで起きた場合、金融政策による緩和措置を現在見込まれているよりも早期に引き揚げ始めることが適切になる可能性がある」と記されたことから初回利上げが予想より早まる可能性があるとの見方が強まり、ドルは一気に 2.26 台半ばまで買いが入った。
- 翌 21 日には伯大統領候補のシルバ氏が会見で中銀の独立性維持やインフレ抑制を目指すと発言したことが市場で好感されレアルは 2.2530 まで続伸するも、直後に大口の資金流出の噂が聞かれると一気に反落した。
- 週末にかけてレアルは週間安値となる U\$1=R\$2.2840 を付けた後、2.2800 を中心に上下し、結局 U\$1=R\$2.2780 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
8/25	FGV消費者信頼感	Aug	--	106.9
8/25	FGV CPI IPC-S	Aug 24	--	0.08%
8/25	貿易収支(週次)	Aug 24	--	\$684M
8/25	Federal Debt Total	Jul	--	2202B
8/26	FIPE CPI-週次	Aug 23	--	0.34%
8/26	FGV建設コスト(前月比)	Aug	--	0.80%
8/26	ローン残高(前月比)	Jul	--	0.9%
8/26	融資残高	Jul	--	2830B
8/26	個人ローン・デフォルト率	Jul	--	6.5%
8/26	Private Banks Lending	Jul	--	1340B
8/27	PPI 製造業(前月比)	Jul	--	-0.13%
8/27	PPI 製造業(前年比)	Jul	--	5.04%
8/28	FGVインフレIGPM(前月比)	Aug	-0.35%	-0.61%
8/28	FGVインフレIGPM(前年比)	Aug	4.81%	5.32%
8/28	中央政府財政収支	Jul	0.0B	-1.9B
8/28	CNI Consumer Confidence	Aug	--	109.5
8/29	GDP(前期比)	2Q	-0.3%	0.2%
8/29	GDP(前年比)	2Q	-0.3%	1.9%
8/29	GDP(4四半期累計)	2Q	1.5%	2.5%
8/29	純債務対GDP比	Jul	--	34.9%
8/29	Nominal Budget Balance	Jul	--	-20.8B
8/29	基礎的財政収支	Jul	--	-2.1B

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.23 – 2.30

今週は国内外でイベントや経済指標が多く見られ、リアル相場のボラティリティーが高い展開となった。国内では先週死亡したカンボス氏に代わってシルバ氏が大統領選挙に出馬を表明し、世論調査で現職のルセフ大統領と統計上互角になったことが市場では好感された。シルバ氏がカンボス氏に代わって今後どのような政策を提案し、支持率を上げていくかが市場では大きく注目され、今後の世論調査に注目が集まる。海外では米 FOMC 議事録の発表や米ワイオミング州ジャクソンホールでのイエレン FRB 議長の講演があり、米経済は大恐慌以降で最も大きく、かつ長期にわたる雇用喪失からの回復過程で相当の進展を遂げてきたものの、労働力の活用はなお極端に低い状態にある上、依然としてスラック（たるみ）があるとの認識を示し、利上げ開始まで課題はまだ残っている。来週は GDP 等を中心に国内外で引き続き重要な経済指標の発表があり、リアル相場のボラティリティーは引き続き高い展開となるだろう。